

**「富山県立中央病院第五次中期経営計画（案）」
に対する意見の概要と意見に関する県の考え方**

- ・意見募集期間 令和6年2月26日（月曜日）～令和6年3月8日（金曜日）
- ・意見提出者数：4名 意見提出件数：4件

	意見の概要	県の考え方
1	省エネルギー対策の推進の部分で、環境問題に積極的に取り組むとある。先進的な首都圏の公立病院を参考に、省エネ・省CO2に加えて防災を両立できる病院を目指してほしい。持続可能な効率的で質の高い医療提供はもちろん、環境面、防災面でも富山県立中央病院は、県内病院のリーダーであってほしい。	当院では、大規模災害に対応するため、当該計画の他に、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、「災害対策マニュアル」「防火の手引き」「停電時のマニュアル」を策定しています。 災害対策マニュアル等は、実態に即したものとするため、当院内に「災害対策委員会」設置し、災害対策訓練等を踏まえ、内容について、検討、見直しを行っています。
2	P28に災害時医療提供のための備蓄品、ライフラインの確保として、一時的にライフラインが寸断された場合について記載されていますが、令和6年1月の能登半島地震では、エネルギーや水道の途絶が大きな問題となり、安定した医療継続を逼迫する事態となりました。県民はもちろん医療従事者にも安心していただくには、「一時的な寸断に備える」という表現では不十分ではないでしょうか。2週間や1カ月など具体的な期間を明確にして、計画的に改善・強化を図っていくことが望ましいと思います。	見直しにあたっては、このたびの能登半島地震やいただいたご意見を踏まえ、適切な対策を講じます。また、いただいたご意見を踏まえ、「災害時医療提供のための備蓄品、ライフラインの確保」の項目を修正しました。
3	いつも中央病院を利用させていただいて感謝している。 医療法人の施設に都市ガスやLPガスで動かす発電機が設置されたという記事を見た。大地震は広域で起きる。患者が殺到し、停電で助けられるはずの命が助けられないことがあってはならない。長期間に対応できるようにしておくべき。すぐにはできなくても、中長期的な視点で検討・研究すべきだ。	
4	ESCO事業による経済効果の実績を示してほしい。その上で省エネルギー対策の推進、危機管理体制の強化の両立を目指していただきたいと思います。	いただいたご意見については、今後の事業検討にあたっての参考とさせていただきます。 また、いただいたご意見を踏まえ、「ESCO事業の推進等によるエネルギー使用量の削減」の項目を修正しました。

「富山県立中央病院第五次中期経営計画（案）」に対する意見募集後の修正点について

いただいたご意見を受け、以下のとおり修正を行います。

(修正内容)

	修正後	修正前
<p>P28 ④危機管理体制の強化のうち、</p> <p>○災害時医療提供のための備蓄品、ライフラインの確保</p>	<p>○災害時医療提供のための備蓄品、ライフラインの確保</p> <p>災害時でも患者に医療を提供できる体制を確保するため、当院の「災害対策マニュアル」に基づき、災害時に必要な医薬品、診療材料、飲料水、食料などの備蓄を進めます。</p> <p>災害発生後においても安心して、病院運営を継続していくため、電気、水道などのライフラインのうち、エネルギー源はA重油や都市ガス、電気（常用、予備の2系統）により多重化を図っているほか、水道は市水、井水を利用しており、さらには、自家発電機や受水槽などの代替機能を確保しています。<u>一方で寸断されたライフラインが早期に供給されるよう、あらかじめ、関係各社及び関係機関と連絡、協力体制を強化します。</u></p> <p><u>また、災害時の対応として、災害発生からの経過時間を目安に、初動期、急性期、復旧期に分けたフロー図を作成し、対応していきます。</u></p>	<p>○災害時医療提供のための備蓄品、ライフラインの確保</p> <p>災害時でも患者に医療を提供できる体制を確保するため、当院の「災害対策マニュアル」に基づき、災害時に必要な医薬品、診療材料、飲料水、食料などの備蓄を進めます。</p> <p>また、災害発生後においても安定して病院運営を継続していくため、電気、水道などのライフラインについては、一時的に寸断された場合に備え、エネルギー源はA重油や都市ガス電気（常用、予備の2系統）により多重化を図っているほか、水道は市水、井水を利用しており、さらには、自家発電機や受水槽などの代替機能を確保しています。ライフラインが早期に供給されるよう、あらかじめ、関係各社及び関係機関と連絡体制も強化しています。</p>
<p>P40 ⑤省エネルギー対策の推進</p> <p>○ESCO事業の推進等によるエネルギー使用量の削減</p>	<p>○ESCO事業の推進等によるエネルギー使用量の削減</p> <p>平成22年よりESCO事業[※]により、<u>効率的なターボ冷凍機等</u>を導入し、エネルギー使用量の削減に一定の効果が見られているところです。今後<u>も</u>、ESCO事業によるエネルギー使用量の削減効果を検証するとともに、省エネ法に基づく中長期計画を推進し、環境問題に積極的に取り組みます。</p>	<p>○ESCO事業の推進等によるエネルギー使用量の削減</p> <p>平成22年よりESCO事業[※]を導入し、エネルギー使用量の削減を進めています。今後<u>も</u>、ESCO事業によるエネルギー使用量の削減効果を検証するとともに、省エネ法に基づく中長期計画を推進し、環境問題に積極的に取り組みます。</p>